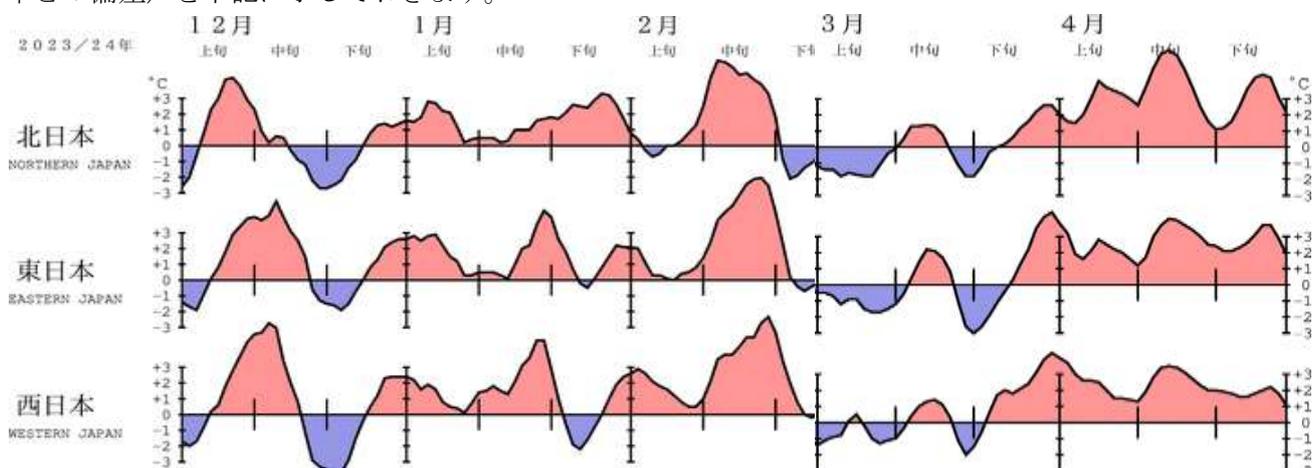


(今年の全国のサクラ・ソメイヨシノの開花記録のまとめ)

\*今期の気象は当初はエルニーニョの発生、寒い冬になるとの予報が出されていましたが、この影響は現れず12月までで以降はラニーニャに転じて全体的には暖冬気味に推移してきました。この為、各気象会社の今年の開花予報については、「暖冬気味であるため、桜の休眠打破は遅れ気味となるが、開花期となる3月以降の気温が高めとなるため相殺され、全国のサクラ・ソメイヨシノの開花は平年よりは早くなる。」と発表して来ました。多分、3月が当初の予報のように、平年を上回る気温であったならこの予想は当たっていたでしょう。しかし、そうならないのが「お天気」。通常であれば3月中旬以降に現れる「太平洋南岸低気圧」が2月下旬から再三発生し、大陸側の寒気を呼び込むことになり、都市圏をはじめ各地で降雪騒ぎが発生するなど、3月は当初の予報通りとはならず、下旬になるまで全国的に平年を下回る気温となりました。今年の冬季及び通常「ソメイヨシノ」の開花期となる3、4月の気温の経緯（平年との偏差）を下記に示しておきます。



1. 過去5年間の「ソメイヨシノ」の開花日（早い）ベストテンは？

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	場所	開花日								
1	東京	3月14日	広島	3月11日	福岡	3月17日	東京	3月14日	高知	3月23日
2	熊谷	3月18日	福岡	3月12日	宮崎	3月18日	横浜	3月15日	宮崎	3月25日
3	横浜		東京	3月14日	高知	3月19日	岐阜	3月16日	広島	
4	前橋	3月19日	長崎		佐賀		名古屋	3月17日	熊本	3月26日
5	宇都宮	3月21日	松江		熊本	3月20日	熊谷		長崎	
6	水戸		高知	3月15日	東京		京都		福岡	3月27日
7	岐阜		松山		鹿児島		高知		松山	
8	福岡		高松		広島	3月21日	甲府		岐阜	
9	和歌山	3月22日	京都	3月16日	松山		福岡	3月18日	松江	3月28日
10	広島		宮崎		静岡		松山		名古屋	

\*気象庁の開花は、毎日8時30分、11時30分、17時30分の3回発表されます。開花日が同一であ

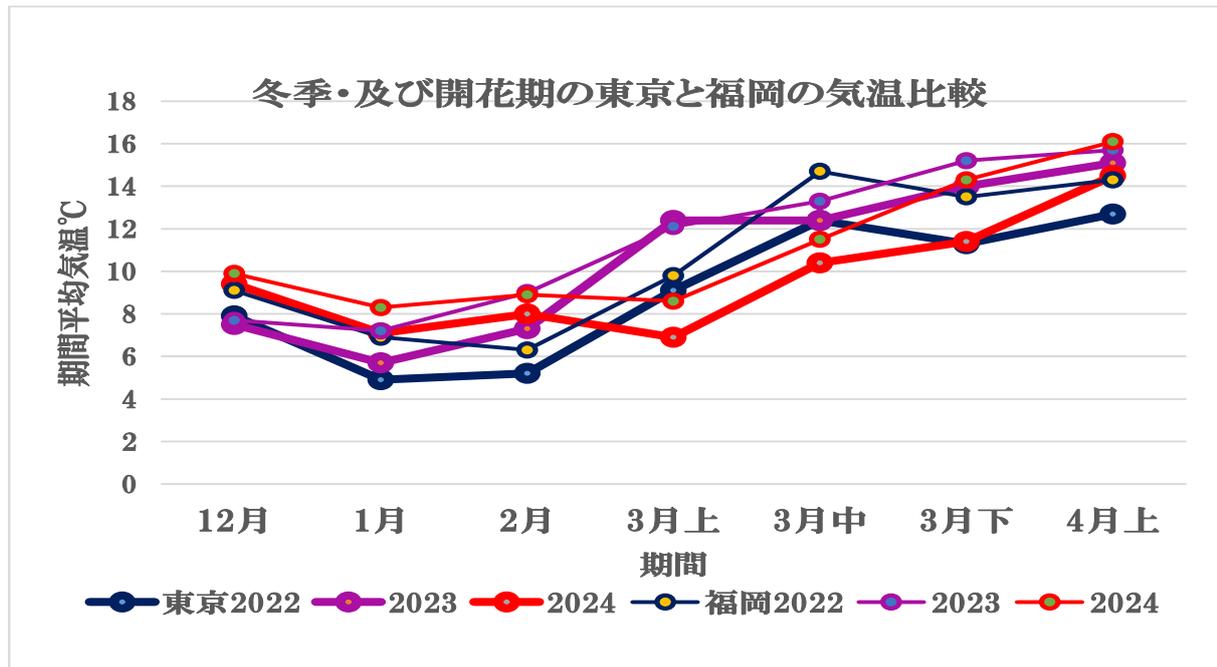
っても、順位付けは開花時間の早い地域が上位にランクされます。**2024年・東京の開花日は3月29日。**

\*上記のランキング表から、

- ・2020年は東京・横浜など関東圏の開花が早かった。
- ・2021年は東京を除いて、九州、四国、中国地区など西日本地域の開花が早かった。
- ・2022年は九州、四国など南方の開花が早かった。
- ・2023年は東京・横浜など関東圏の開花の早い年であった。
- ・2024年は九州・四国での開花が早く、関東圏の開花が遅れたと言えよう。

\*最近5ヶ年間の開花日ランキング上位にランクされるのは、東京、福岡、広島、高知である。

そこで、東京と福岡について、ここ3年間の冬期気温と開花期となる3月~4月上旬の気温を比較して見た。その結果は下図の通りである。



\*上図では分かりにくいかも知れないが、色（22年-青、23年-緑、24年-赤で表示）線の太さ・

（東京-太い線、福岡-細い線）で区分しています。また12月~2月が休眠打破の期間、3月上旬~4月上旬の旬気温が開花期温度として見て下さい。

- ・**2022年**：福岡が3月17日の開花で1位、東京は3日遅れの開花となった。3月上旬~中旬の気温の差が開花に影響したと思われる。
- ・**2023年**：東京が3月14日（観測史上最速タイ）福岡は4日遅れの開花であった。開花期の3月上旬~中旬の気温には殆ど差は無いが、東京の方が1, 2月の気温が2, 3℃低く、休眠打破が早く進行した結果であろうと思われる。
- ・**2024年**：福岡の開花は3月27日、高知や宮崎など温暖な地域よりは開花は遅れ、第6位。一方東京は更に遅く、3月29日と近年になく遅い開花であった。福岡とは1月、2月は1℃程度の差であるが、3月上旬以降、例年になく低い温度となった為、開花も遅れたものと思われる。

以下、各地域ごとに冬期と開花期の気温、及びこの値と昨年度と今年の偏差値をまとめた。また各地域の観測地点での今年の開花日、満開日、これ等の地域平年や昨年と比べ、遅かったのか早かったのかも表

示しておきます

## 2. 九州地区

### 2-1. 地域の気温の平年値と昨年と今年の偏差

気象庁の九州地域に付いては、九州南部（鹿児島・宮崎）と九州北部（南部以外の5県と山口県を含む6県）に分けて統計がとられているので本報ではこれを採用した。両者の平年値を比較すると1.5～2℃程度の差があり、気象上の区分は納得がいく。なお、山口県も地方気象台が下関に置かれており、地理的にも中国地方より九州に近いと考える方が良いのかも知れない。

#### \*九州地区南部（鹿児島県・宮崎県）の気温経過

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	10.3	8.3	9.4	12.5	16.2
2023年偏差℃	0.6	0.3	1.3	2	1
2024年偏差℃	0.6	1.4	3.2	0.8	2.3

#### \*九州地区北部（気候区分上は上記以外の九州5県と山口県が含まれる）の気温経過

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	8.8	6.6	7.5	10.6	14.6
2023年偏差℃	-1.4	0.3	1.2	2.5	1.2
2024年偏差℃	0.8	1.3	2.6	0.8	2.5

・両地区共通で今年の冬季気温は12月、1月、は平年より若干高かったが2月はかなり高めに推移、また、3月は平年よりは若干高めとなったものの昨年ほどには高くはならなかった。気温経緯から開花は2月の気温の影響で休眠打破は平年より遅れ気味、また3月の気温の経緯から開花や満開日は平年に比べ若干遅れ気味となると予想された。

・同地区の開花日、満開日は下記の通りであった。

#### ①九州地域

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
鹿児島	3月29日	3	5	4月5日	0	4	8日	11日
宮崎	3月25日	2	6	4月3日	1	4	10日	10日
大分	3月30日	6	6	4月5日	1	2	7日	11日
熊本	3月26日	4	4	4月2日	1	4	8日	10日
佐賀	3月29日	2	7	4月2日	0	2	7日	10日
長崎	3月26日	3	5	4月2日	0	3	8日	11日
福岡	3月27日	5	9	4月2日	2	7	7日	11日
山口・下関	3月29日	3	7	4月5日	1	5	8日	10日

※平年比、昨年比の数字は黒字は「遅い」日数を表しています。

・期間の気温経緯から予想されるように、開花日は平年よりは2~6日遅くなった。また、昨年に比較す

ると5~9日遅くなっているが、昨年度は冬季温度が低く、且つ開花期である3月の気温が高めとなり、各地共平年よりは早い開花であったからと考えられる。なお、開花日から満開日までの日数が殆どの観測地で平年より短くなったのは、開花期である3月末から4月初旬の気温が高かった為、花の開花が例年より早く進み満開期までの日数が短くなった為と思われます。

### 3. 四国地区

冬季気温は上記の九州地区に次いで高く、温暖な地域であり特に高知は九州南部に匹敵する温暖な地域となっている。逆に徳島は近畿圏に近く地域による寒暖の差の大きな地域となっています。

#### 3-1. 四国地区の気温経過

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値	8.5	6.3	6.9	10.1	14.2
2023年偏差	-1.1	0.3	0.5	2.5	0.9
2024年偏差	0.5	1.2	2.2	0.3	2

・今年度の地区の気温経過はほぼ九州地区と同様で冬季気温は昨年とは異なり、平年よりは高め。特に2月の気温が高めでしたが、花期にあたる3月の気温は平年に近い値でした。同地区の開花日、満開日は以下の通りでした。

#### ②四国地区

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
高知	3月23日	1	6	3月31日	1	7	9	9
愛媛・松山	3月27日	3	9	4月5日	2	8	10	11
香川・高松	3月29日	2	7	4月5日	1	7	8	9
徳島	4月1日	4	9	4月6日	2	10	6	8

\*高知の開花日は3月23日で本州域では最も早い開花日の記録。次いで松山、高松、徳島の順。何処も平年よりは遅い開花、満開日でした。全国的に開花の早かった昨年比では6~9日遅い開花でした。

### 4. 中国地区

\*中国地方4県は広島・岡山の瀬戸内海側と、島根・鳥取の日本海側に分かれるが、地域区分では区別はされていません。上記の九州、四国地区に比べると、冬季の気温は低いですが昨年、今年の偏差の傾向はほぼ同じとなっています。

\*この地域の開花状況を次ページに挙げておきます。

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	7	4.7	5.2	8.5	12.9
2023年偏差	-1.0	0.3	0.7	2.9	1
2024年偏差	0.8	1.1	2	0.4	2.2

### ③中国地区

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
広島	3月25日	0	6	4月5日	2	8	12	10
岡山	3月30日	2	8	4月5日	1	9	7	9
島根・松江	3月28日	1	8	4月3日	2	4	7	8
鳥取	3月29日	0	10	4月6日	1	13	9	8

この地区では、松江が平年より1日早い開花日とはなっていますが、全般的には平年との差異は殆どありません。ただ昨年度に比べると6日から10日遅くなっています。気温の経緯からは、他の地区と同様、平年値よりは高めの気温で推移してきましたが、元々平年値自体が前2地区より低く、休眠打破への影響が小さかったのではないかと思います。例年、この地域では広島の開花が早く全国の開花日ベストテンに入ることが多く、今年も4位にランクされていますが気温の経緯からだけでは説明付けは出来ません。(なお、広島では2021年に開花観測の標準木が従来の標準木が老朽化、若い樹へ変更されている。同年、新標準木の開花時、旧標準木では開花が見られなかったとの新聞記事が残っていました。)

#### 5. 近畿地区

##### 5-1. 地区の平年気温と今年の偏差値

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	7.7	5.3	5.7	8.9	12.9
2023年偏差	-0.9	0.3	0.6	3.1	1
2024年偏差	0.9	1.1	2.1	-0.1	2.4

近畿地区も気候的には通常は太平洋側と日本海側に区分して発表されて来っていますが、上表はあくまでも「サクラの観測地点」を基準にまとめられたものです。今年の気温経緯は西日本各地区と同じ傾向と言えます。表には現れていませんが、暖冬気味には推移しましたが、開花期に当たる3月の冷え込みが強く、この時期が暖かであった昨年と比べると大きく影響したと思われます。

\*近畿各地のソメイヨシノの開花日・満開日は下記の通りとなりました。

府県 場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
大阪	3月30日	1	11	4月6日	2	10	8	9
京都	3月29日	3	12	4月5日	1	12	8	10
兵庫・神戸	4月1日	5	8	4月7日	2	7	7	9
奈良	3月31日	3	11	4月8日	4	12	9	8
和歌山	3月30日	6	10	4月3日	0	9	5	11
滋賀・彦根	4月2日	1	10	4月9日	1	10	8	9

\*この地区では、各気象会社の予報では、「暖冬気味で休眠打破は若干遅れるが、3月以降も暖かさが続く」として休眠打破の遅れをカバーし開花は平年もしくは早くなると発表して来た。結果的には3月

の気温が例年より若干低目に推移したため、各地共平年よりは遅い開花となった。また、開花の早かった昨年に比べると 10 日前後もおそくなった。開花期の気温が平年を上回ったので、花期は短くなった他、冬季から 3 月にかけての雨量が例年以上に多く、揚水が順調であった為か、開花時には高所の枝先まで開花するというような現象も見られ、開花から花の咲き終わりの期間が昨年は 1 ヶ月~それ以上であったが、今年は 20 日間ほどと短かった。また、昨年多く発生した”芽”の未展開による枯れ枝の発生が殆ど見られなかった。

・最近京都、奈良、昨年になって兵庫・神戸で開花の基準となる標準木が変更されている。神戸、和歌山の開花が他所に比べ平年より可成り遅くなったのは気にかかる。

## 6. 東海地方

### 6-1. 東海地区の平年気温と今年の偏差値

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	7.9	5.5	6.1	9.4	12.9
2023年偏差	-0.5	0.3	1.1	3.2	2.3
2024年偏差	1	1.4	2.4	0	2.4

気象庁の気候区分では「東日本」に含まれる地区である。各地方の気温は基本的には、開花観測地の平均値であり、上表では近畿地区とほぼ同じで平均気温、今年の偏差値もほぼ同じ傾向となっています。

・この地域の開花・満開日のデータは下記のように発表されています。

### 6-2. 地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
岐阜	3月27日	2	11	4月4日	2	12	9	9
名古屋	3月28日	4	11	4月7日	5	11	11	10
三重・津	3月30日	1	8	4月2日	1	6	4	6
静岡	3月30日	6	11	4月8日	6	10	10	7

\*今年の開花日は 3 月 27 日~30 日とあまり地区内では差がないが、平年比では 1~6 日とばらついています。昨年比では『津』を除いて 11 日であり、満開日に関しても同様な傾向となっています。この地域で、最も気温の高いのは静岡であり、開花日の遅れは暖冬の影響を受け休眠打破の遅れが影響したものと考えられます。花期が平年に比べて長くなっているのも同じ理由によるのでしょう。

\*この地区で特異なのは三重県・津の観測値・・・この地域での今年の開花~満開日は他地点では 10 日前後となっていますが、今年は 4 日間、平年でも 6 日間と極めて短くなっています。観測木は気象台にはなく、偕楽園という市内の公園にあり、右のように主幹は太いのですが枝はあまり広がっていません。樹形から枝先まで揚水されやすい？樹の特性かも知れません。



## 7. 関東地区

### 7-1. 関東地区の平年気温と今年の偏差値

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	7	4.6	5.3	8.5	12.7
2023年偏差	-0.2	0.3	1.3	3.8	2.5
2024年偏差	1.5	1.8	2.1	1.7	2.6

ここも平年に比べると暖冬気味ではあったが、開花期である3月の気温は昨年と比べると2℃以上も低目であった。例年開花の早い東京・横浜でも2月末~3月下旬には再三降雪を伴うような寒波が入っており、この間の気温差は上表以上に大きかったと思われます。冒頭の本年度の冬期~4月の平年との偏差値図を見て頂ければご理解頂けるでしょう。

### 7-2. 地区のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

都県・場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
横浜	4月1日	7	17	4月7日	6	13	7	8
東京	3月29日	5	15	4月4日	4	13	7	8
千葉・銚子	4月1日	2	10	4月7日	1	8	7	7
埼玉・熊谷	3月31日	4	14	4月8日	5	13	9	7
群馬・前橋	3月31日	2	13	4月8日	3	15	9	10
栃木・宇都宮	3月31日	1	11	4月11日	5	12	12	11
茨木・水戸	3月31日	1	11	4月8日	2	12	9	8
山梨・甲府	3月29日	4	12	4月5日	3	12	8	9

\*この地区のソメイヨシノの開花日は3月29日~4月1日とほぼ地区一斉開花の様相でした。ただ、平年に比べると東京・横浜の開花日の遅れが目立ち、さらに昨年比ではいずれの観測地でも10日以上遅れとなりました。今年度の東京の開花遅れについては、上表ではなく1ページに掲載したグラフで、3月上旬~中旬の気温（絶対値）の昨年（紫）と今年（赤）を比較していただければ納得がいくでしょう。

\*開花が遅れた関係で、満開日も当然のことながら昨年比では10日以上遅れました。見かけ上の満開状態、見頃は通常1週間ほど続くので、今年は文字通り「入学式」の桜を演出した形となったようです。

\*これまで纏めてきた、九州から関東地域については、いずれも平年より開花が遅れ、一部の観測地を除いて開花は3月下旬から4月上旬に集中しました。

## 8. 北陸・信越地区

### 8-1. 地区の平年気温と今年の偏差

\*昨年までこの地区に「甲府」を入れていましたが、気象庁等の区分では関東地区とされているのでこれに準じて移行いたしました。また、気象上北陸3県（福井・石川・富山）と信越（新潟・長野）では気温等可成り異なるので区別し表示しました。（次ページ）

## 北陸

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	6.1	3.4	3.8	7.2	11.6
2023年偏差	-0.6	0.4	0.5	3.2	2.4
2024年偏差	0.8	1.4	2	-0.1	1.7

## 信越（新潟・長野）

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	3.8	-1.1	1.8	5.3	10
2023年偏差	0.1	0.4	0.5	3.2	2.4
2024年偏差	0.4	1.4	1.6	-0.3	2.9

\*両地区で、平年値には差があるが、偏差値自体の傾向は同じ、3月は昨年はかなり高めの気温となったが、本年度は平年をわずかに下回る結果となりました。度重なる太平洋南岸低気圧の通過による寒気団の張り出しの影響が他地域より大きかった為と考えられます。

### 8-2. 北陸・信越地区のソメイヨシノの開花日・満開日

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
福井	4月1日	0	10	4月6日	1	10	6	7
石川・金沢	4月1日	2	9	4月8日	0	9	8	7
富山	4月2日	1	11	4月10日	8	5	9	6
新潟	4月6日	2	10	4月11日	2	11	6	6
長野	4月8日	3	11	4月13日	3	10	6	6

・赤字は平年より早かった日数を表示しています。

\*この地区では、4月に入ってからの開花となり、平年並みか若干早い開花日となりました。冬季気温が若干高めとはなりましたが、絶対値は低いので休眠打破は早く、2月の気温が平年値を上回ったことが開花を若干早める結果になったのではないかと思います。

## 9. 東北地区

### 9-1. 東北地区の平年気温と今年の偏差値

	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	2.7	0.3	0.8	4.1	7.8
2023年偏差	0.4	0	0.4	3.4	2.9
2024年偏差	0.9	2.1	2.1	0.2	3.1

\*この地区の気温は平年値自体他の地区に比べ低目ですが、今年の冬季は平年よりは高めに推移しました。ただ、昨年3月は気温が可成り高めでしたが、今年は平年並みか若干高い程度でした。このような気温状況でこの地区のソメイヨシノの開花実績は下記のようにになりました。

### 8-2. 東北地区のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

場所	開花日			満開日			花期	
	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年比	昨年比	2024年	平年
仙台	4月2日	6	7	4月9日	4	9	8	7
福島	4月3日	4	10	4月7日	4	10	5	5
山形	4月7日	6	7	4月10日	2	11	4	6
岩手盛岡	4月12日	6	9	4月14日	10	8	3	7
秋田	4月10日	7	6	4月14日	8	7	5	6
青森	4月14日	7	8	4月18日	8	7	5	7

\*この地区のソメイヨシノの開花は平年は4月中旬以降ですが、今年は昨年には及ばないものの1週間ほど早い開花となりました。他地区では平年より遅れて開花する地域が多かったのに比べると異例。この地区では開花から満開日までの期間は仙台を除いて3~5日と短いのも特徴です。

\*この後、今年のサクラ前線は津軽海峡を渡り、北海道・函館の五稜郭のソメイヨシノの開花日は平年より10日早く4月18日、満開は平年より9日早い4月23日となりました。

\*地球温暖化の影響は高緯度（北方）ほど大きくなると言われています。サクラに限らず、色々な自然現象も東北・北海道ではこの影響が既に出始めて来ているように思われます。

以上、今年の記録の羅列になりましたが、今年の各地の開花状況をまとめました。参考にして下さい。



近くのシナミザクラ：4月30日の画像です。

以上